



個人投資家向け会社説明会

2026年6月20日

大和コンファレンスホール

代表取締役会長兼CEO 金田 達三
代表取締役社長 岸本 安正

株式会社 G-7 ホールディングス

<https://www.g-7holdings.co.jp/> 東証プライム (7508)

目次

- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ 前期実績および今期業績予想について
- ◆ 中期経営計画2030について
- ◆ 参考資料

- ◆ **G-7ホールディングスについて**
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ 前期実績および今期業績予想について
- ◆ 中期経営計画2030について
- ◆ 参考資料

会社名	： 株式会社G-7ホールディングス
設立	： 1976年(昭和51年)6月
代表者	： 金田 達三(かねだ たつみ) 岸本 安正(きしもと やすまさ)
資本金	： 17億9,199万円
連結子会社	： 国内13社、海外1社
連結従業員数 (2026年3月末現在)	： 8,766名(パート・アルバイト含む)
株式	： 東京証券取引所プライム市場 (7508)
本社所在地	： 神戸市須磨区弥栄台2-1-3

G

国内外へ「グローバル」に成長する、「ガッツ」あふれる、活力に満ちる「グループ」を意味します。

7

創業者 木下守が1975年に兵庫県加古川市のボウリング場「セブンボウル」の駐車場にて、カー用品の販売を開始。ボウリング場の「セブンボウル」と「ラッキーセブン」にあやかりました。

当社はFC加盟するオートバックス、業務スーパーなどの事業を行うグループ会社の経営戦略・管理・運営等を行う持株会社です。



オートボックス加古川店（1号店）

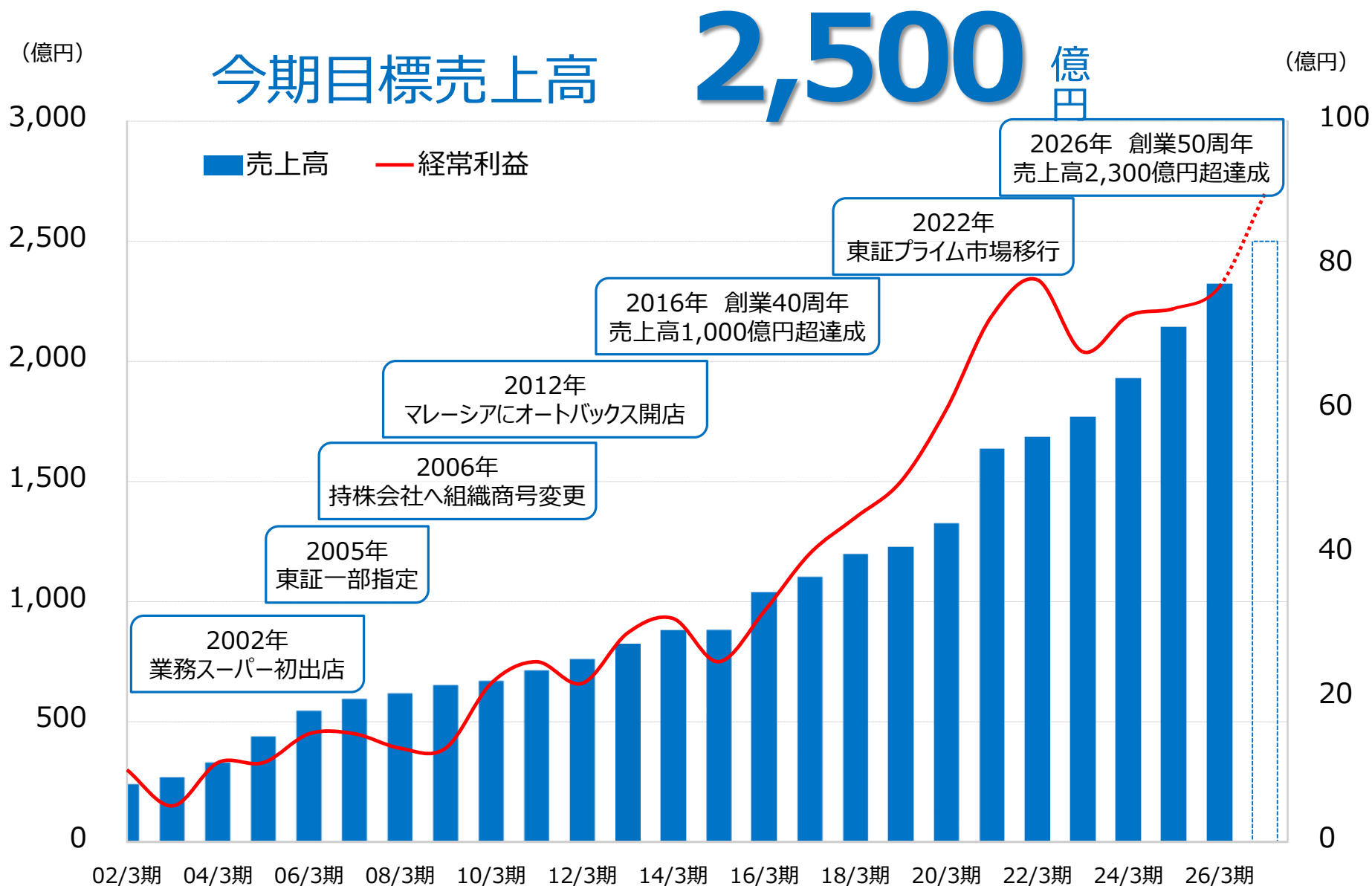


創業40周年記念式典



G-7グループ本社

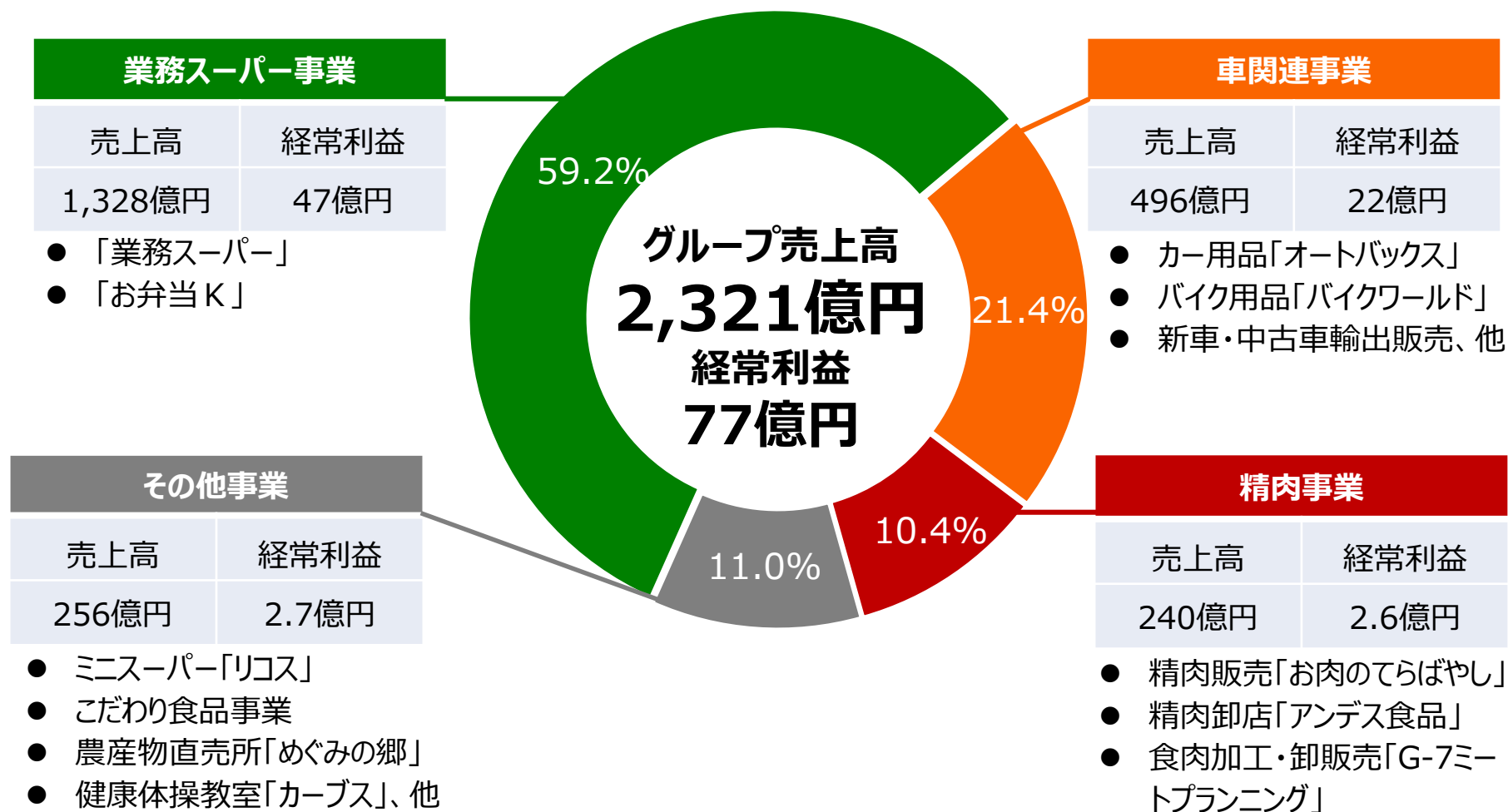
1975年(昭和50年)	創業者 木下守がボウリング場敷地内に自動車用品店「オートセブン加古川店」を開店
1976年(昭和51年)	「オートボックスフランチャイズチェーン」に加盟し、「オートボックス大久保店」を開店し、以降多店舗展開を図る
1996年(平成8年)	大阪証券取引所市場第二部に株式を上場
2002年(平成14年)	子会社株式会社サンセブンを設立、株式会社神戸物産とFC契約を締結し「業務スーパー」事業を展開
2005年(平成17年)	東京証券取引所・大阪証券取引所市場第一部に指定
2006年(平成18年)	G-7グループ各事業会社を支配・管理する持株会社の「株式会社G-7ホールディングス」に組織・商号変更
2012年(平成24年)	マレーシアにオートボックス1号店を開店
2016年(平成28年)	創業40周年記念式典・祝賀会を開催。売上高1,039億円、経常利益32億円、407拠点
2016年(平成28年)	G-7グループ創業者記念館完成
2020年(令和2年)	創業45周年を迎える
2021年(令和3年)	G-7グループ新本社落成
2022年(令和4年)	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、東京証券取引所プライム市場へ移行する
2025年(令和7年)	創業50周年を迎える



- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ **G-7グループの主な事業**
- ◆ 今期実績および今期業績予想について
- ◆ 中期経営計画2030について
- ◆ 参考資料

G-7グループは4つの事業に分かれています

2026年3月期セグメント別業績



オートバックス事業



【運営会社】(株)G-7・オート・サービス



オートバックス



オートバックスエクスプレス



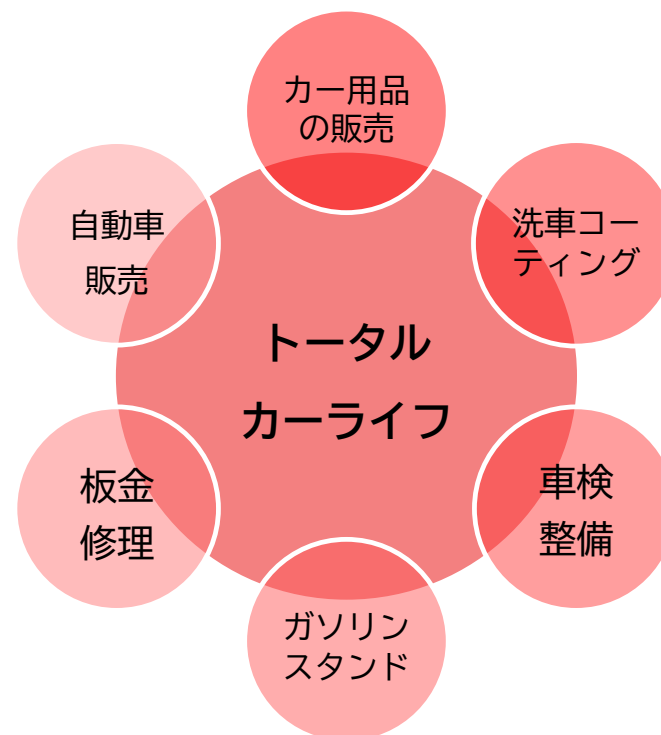
カーズ車買取販売



BPセンター

カー用品の全国ブランド「オートバックス」にフランチャイズ加盟し、車に関するあらゆる業態に取り組み、ドライバーのトータルカーライフに貢献しています。

出店エリア：兵庫県、京都府、岡山県、広島県、福井県、千葉県、茨城県



オートバックス	66店舗	エクスプレス	7店舗
スーパーオートバックス	2店舗	BPセンター	8拠点
オートバックスセコハン市場	1店舗	土山サーキット	1拠点

2026年5月末現在

バイクワールド事業

for riders on The earth. バイクワールド

BIKEWORLD

【運営子会社】(株)G-7バイクワールド、G7リテールマレーシア

国内	14店舗
マレーシア	7店舗

2026年5月末現在



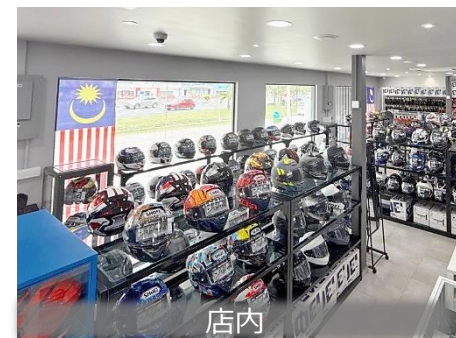
伊丹店（大阪府）

自社ブランドのバイク用品専門店「バイクワールド」を展開し、2輪の用品・パーツ・アクセサリ専門店、整備などの総合サービスを国内外で提供しています。Webショップの楽天市場店、バイク王の車両販売とのコラボ出店を展開しております。

出店エリア：兵庫県、大阪府、千葉県、栃木県、福岡県、岐阜県、愛知県、三重県、広島県、香川県、マレーシア



外観



店内

タクアantan店（マレーシア）（クアantanはマレー半島東部パハン州の州都）

自動車輸出事業

【運営子会社】(株)G-7クラウン・トレーディング



国内の中古車は環境への取り組みも含めて海外で人気となっており、世界各地に「日本ブランド」の自動車を届けていきます。主に東南アジア中東に**輸出販売**をおこなっています。海外営業拠点を設け、新規取引国の開拓を行っております。

その他車関連事業



【運営子会社】(株)G-7・シンワ・モビリティ・サービス

新車・中古車の販売、車検、メンテナンス、板金、保険、レンタカー等、車のトータルサポートを行っています。京都と滋賀に4店舗展開し、地域密着型のサービスを提供しています。



【運営子会社】(株)G-7・オート・サービス



「カーライフ × アウトドアライフの融合でよりライフスタイルを楽しく豊かにする」事を理念に、キャンプ用品やアウトドア用品の販売やキャンプ場でのイベント企画を開催しております。

【運営子会社】(株)G-7・オート・サービス



マンマチャオ ひよどり台店

千葉県、福井県、京都府-各1店舗、
兵庫県-3店舗



やまや 布施畑インター店

兵庫県-2店舗



シャトレーゼ 猪名川店

兵庫県-2店舗



キーポイント摂津鳥飼店

大阪府-1店舗

業務スーパー事業

一般のお客様大歓迎
業務スーパー

【運営子会社】(株)G-7スーパーマート

食のプロから一般の方まで利用できる「業務スーパー」を全国フランチャイズ展開。安全で安心できるよい品をお求めやすい価格で販売しています。食料品から割り箸・洗剤などの日用品までを販売し、毎日の食卓を応援しています。

全国
223店舗で
展開！

北海道 20店舗

愛知県、三重県、岐阜県はエリアライセンス
(独占出店)を取得

関西 34店舗

中部 54店舗

関東 88店舗

九州 27店舗



2026年5月末日現在



【運営子会社】(株)G-7 ミートテラバヤシ

お肉のてらばやし事業（小売り事業）

自社ブランド「お肉のてらばやし」は主にG-7グループが運営する業務スーパー、めぐみの郷内の精肉部門テナントとして出店しています。約9割の店舗内で加工やスライスを行っており、専門店ならではの品質の高い商品を提供しています。

アンデス食品事業（食肉卸事業）

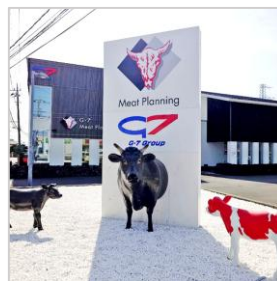
日本でも有数の高級和牛の産地で育てられた高級銘柄の、血統や肉質などを厳しくチェックし、厳選された4等級以上から特選クラスまでを落札します。購入した枝肉は、ミートセンターの優れた技術者により除骨・成形・カットされ厳しい品質管理のもと、お客様へ出荷されます。

EC事業（通販専門店「お肉のてらばやし匠」）

2021年通販専門店「お肉のてらばやし匠」をオープンいたしました。お肉の目利き「匠」が厳選した東京食肉市場を中心に厳選した商品をお客様にお届けいたします。

牛タン加工・卸販売事業（G-7ミートプランニング）

全国の焼肉店等に向けた牛タン加工・卸販売を主力事業としており、長年培ってきた加工技術と販売ネットワークを強みとしております。



お肉のてらばやし&アンデス食品卸売市場店舗

北海道	17店舗	中部	40店舗
東北	1店舗	近畿	39店舗
関東	72店舗	中国	5店舗
九州	30店舗	合計	204店舗

2026年5月末現在

こだわり食品事業

【運営子会社】(株)G7ジャパンフードサービス

日本全国から厳選した
‘おいしいもの’を食卓へ



主な事業は食品の卸販売です。各地方の名産品や特産品を発掘し、「こだわり食品」として、百貨店などに卸販売を行っています。取り扱いアイテムは7万を超え、6,500社以上の販売店に卸しています。また、商品のセレクトから陳列、タイトルボード、プライスカード、広告までトータルで提案しています。また、様々な食品展示会に出展し、プライベートブランド商品を中心に紹介をしております。



「本物志向の商品づくり」をコンセプトに、おいしくて安全・安心な食品の企画・開発、製造を行っています。冷凍食品や加工食品などを中心に、幅広いラインナップをご提供しています。



家族の様に大切な、この子達に本当に良い食べ物を食べて欲しい少しでも長く健やかに楽しく生活して欲しい、そんな思いからペット事業をスタートさせました。

こだわり食品の卸会社が自然素材にこだわりワンちゃん・ネコちゃんの健康を第一に考えた食事を提供します。

めぐみの郷事業



【運営子会社】(株)G7アグリジャパン



兵庫県を中心に、農産物直売所「めぐみの郷」を展開しています。めぐみの郷は、農家の方が丹誠込めて育てた安全安心でおいしい野菜を直売する、まったく新しい流通システム。従来の流通経路をカットすることで、消費者の方には新鮮な野菜を安価に提供し、農家の方には安定収入や、やりがい創出など農業支援に努めています。

兵庫県	15店舗
大阪府	1店舗
奈良県	2店舗

2026年5月末現在

ミニスーパー事業



【運営子会社】(株)G7ジャパンフードサービス



神奈川県と東京都内で都市型ミニスーパー「リコス」を展開。少子高齢化や単身世帯の増加・女性の社会進出に伴う「狭商圈化」「個食・小食化」に対応できる使い切り・簡単・便利な個食を中心とした食料品や生活用品を取り揃えております。生鮮食品を中心に「安全・安心」「鮮度」「美味しさ」を低価格で実現していきます。

東京都	37店舗
神奈川県	10店舗

2026年5月末現在

Rico's においては、経営資源を集約し、経営効率の向上を図るため、2026年7月1日付で(株)G7ジャパンフードサービスが(株)G-7リコス・ストアズを吸収合併いたします。
(2025年11月13日付当社発表)

健康関連事業
Curves

【運営子会社】(株)G7リテールジャパン



神奈川県内 25店舗



「女性だけの30分フィットネス」カーブスをフランチャイズ展開しています。カーブスは月会費制の健康体操教室です。予約なしでパッと運動してサッと帰る、という気楽なフィットネスです。カーブスは健康を維持し、また生活の改善にも大きな効果があります。

EC事業
neel
www.neel.co.jp

【運営子会社】(株)G-7新流



横浜ランドマークプラザ店



主にブランド腕時計の国内正規品とペット用品を販売する「EC事業」を主軸に、実店舗として横浜でブランド腕時計ショップ「NEEL」の運営を2店舗行っています。

G-7グループの強み～G-7モールの展開

全国25か所で展開中



大型駐車場付きの複合商業施設をG-7モールとして、グループの店舗やテナントを入れて集客のシナジー効果を促す、モール事業に力を入れています。

各モールでは毎年グループ事業が結集した「モールフェスティバル」を開催し、地域のお祭りとして、根づいています。

年間スケジュール

4月 G-7モール千葉ニュータウン(千葉県)

6月 G-7モールNEW土山(兵庫県)

7月 G-7モール野田梅郷(千葉県)

9月 G-7モール木更津金田(千葉県)

11月 スーパーオートバックスサンシャインKOBÉ(兵庫県)

G-7グループの強み～グループ事業の結集

コラボ店舗



G-7グループが運営する「業務スーパー」には、「お肉のてらばやし」と「めぐみの郷」がテナント出店しています。

グループの強みを活かした「コラボ店舗」の出店を展開してまいります。 ※「めぐみの郷」は近畿圏のみ出店

お肉の
てらばやし

159/204
店舗

一般のお客様大歓迎
業務スーパー

223店舗

農産物直売所 めぐみの郷

7/18
店舗

2026年5月末日現在



653
店舗（計）

北海道地方

37
店舗

東北地方

1
店舗

中部地方

107
店舗

関東地方

259
店舗

九州地方

58
店舗

中国・四国地方

17
店舗

近畿地方

166
店舗

車関連事業

オートバックス（SA、オートバックスセコハン市場含む）	69
オートバックスエクスプレス	7
BPセンター	8
G-7カーサービスセンター（旧マレーシアオートバックス）	2
マンマチャオ	6
フィールドセブン	5
たい焼き専門店やまや本舗	2
モータウン土山サーキット	1
シャトレーゼ	2
バイクワールド	21
ガイア	4
キーポイント	1

業務スーパー事業

業務スーパー	223
お弁当屋 K	1

精肉事業

お肉のてらばやし（アンデス食品含む）	204
--------------------	-----

その他事業

Rico's	47
めぐみの郷	18
スーパーめぐみのさと	1
カーブス	25
からだ動き回復センターピントアップ	2
RJ Market	1
neel	2

2026年5月末日現在

- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ **前期実績および今期業績予想について**
- ◆ 中期経営計画2030について
- ◆ 参考資料

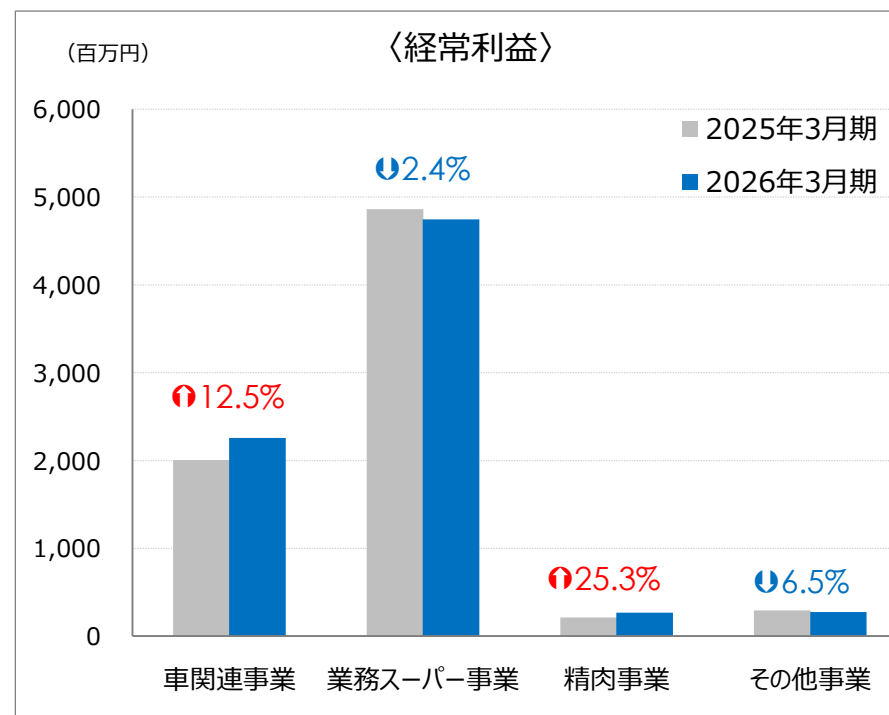
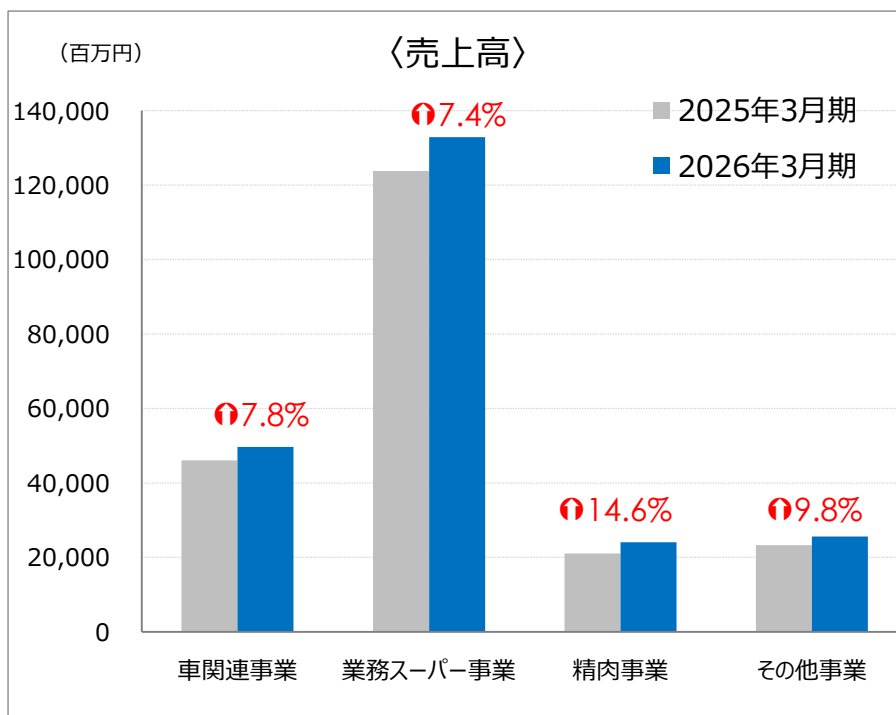
2026年3月期連結業績と2027年3月期通期予想

G-7グループ

連結業績

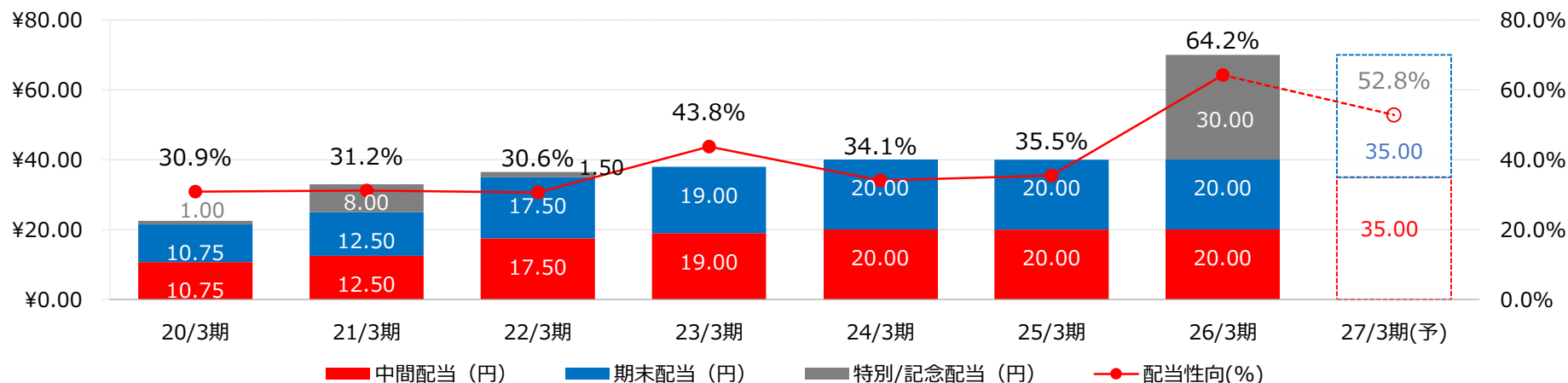
	26年3月期	前期比増減率	27年3月期予想	前期比増減率
売上高	232,199	8.4%	250,000	7.7%
営業利益	7,270	2.1%	8,900	22.4%
経常利益	7,727	3.5%	9,000	16.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,767	▲3.5%	5,800	21.7%

セグメント別業績



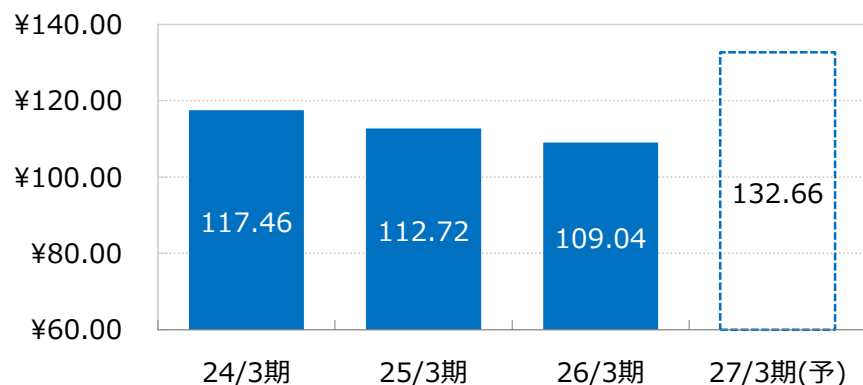
□ 配当推移

2026年3月期は創業50周年記念配30円を加え年間70円に。2027年3月期は配当方針変更により70.0円を継続予定

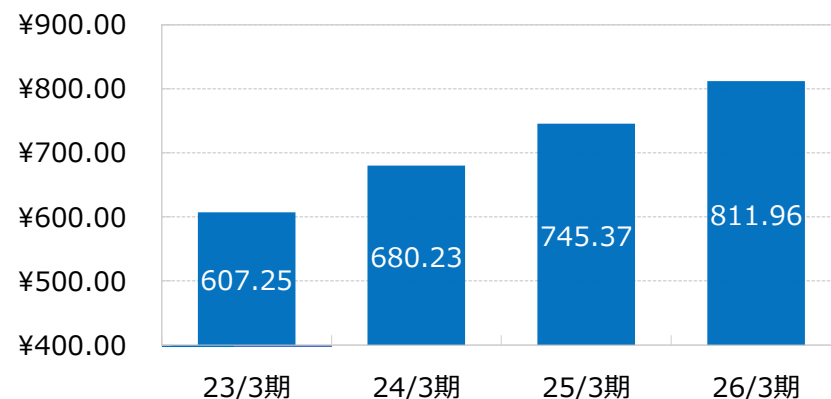


配当性向は **50%** を目安に累進配当（70円以上）を目標にしています

□ 一株当たり当期純利益（EPS）



□ 一株当たり純資産（BPS）



注) 当社は、2020年1月1日付、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割の比率で2022年3期第2四半期以前の「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」「1株当たり配当金」を算定しております。

◆ G-7ホールディングスについて

◆ G-7グループの主な事業

◆ 前期実績および業績予想について

◆ **中期経営計画2030について**

◆ 参考資料

基本方針

投資効率の高い新規出店とM&Aの推進によって事業規模を拡大し、業務フローの革新とDX推進による生産性向上によって持続的な利益成長を目指します。

業務スーパー事業

積極的な出店戦略を通じたさらなる成長加速

車関連事業

既存店価値最大化と計画的な新規出店による安定成長

精肉事業

グループ内外への多面的な出店展開により事業規模拡大を推進

その他事業

既存領域の拡大と新領域への挑戦

新事業・M&A

新業種・業態を含む積極的なM&Aを推進

経営指標目標

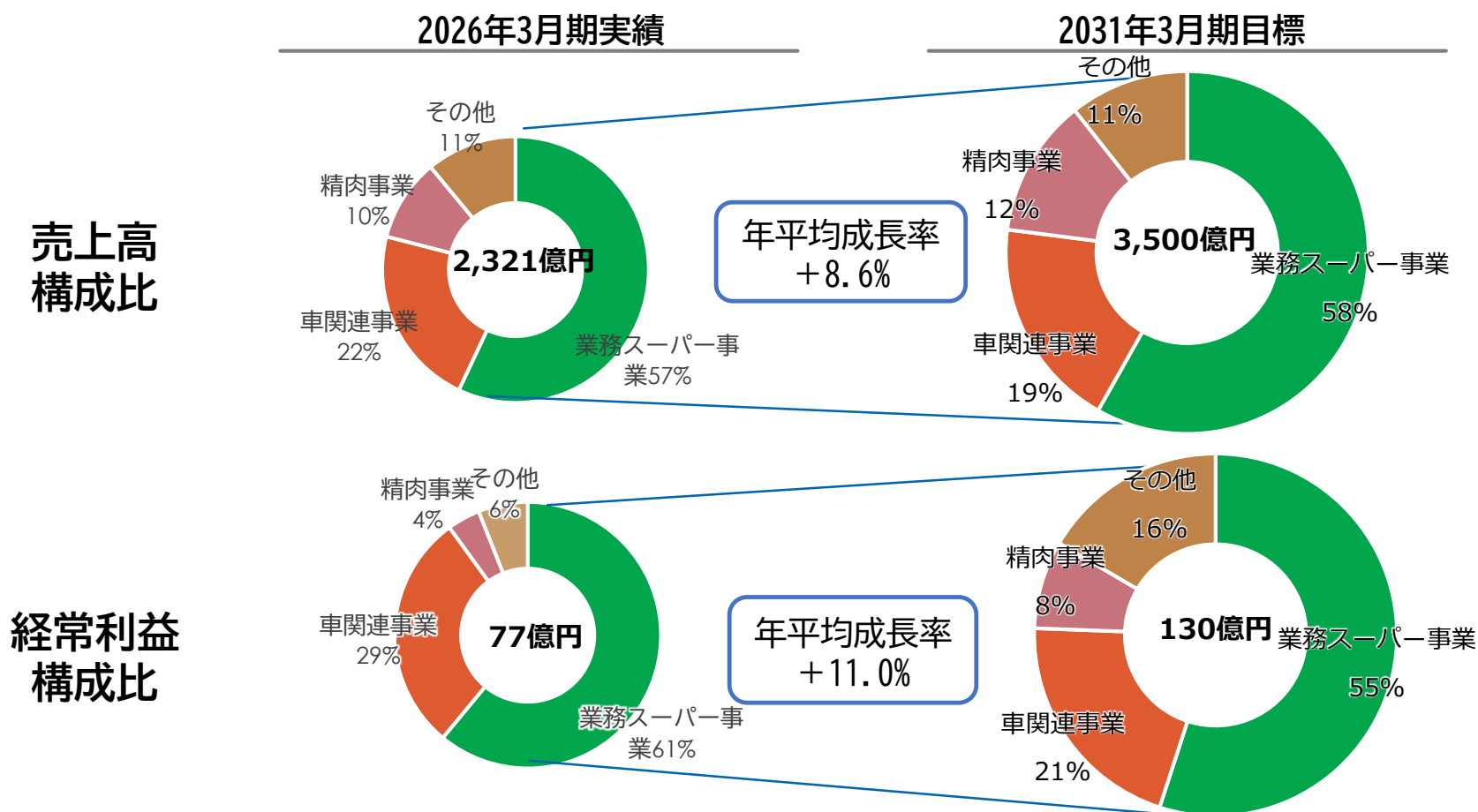
- 新規出店のスピードを加速させ、既存店の効率化を進め、主軸3事業を中心に業績拡大を目指す。
- 将来に向けた成長投資を進め、資本収益性の向上を意識した株主還元の強化にも取り組む。

企業価値向上に向けた経営指標目標

		前中期経営計画 21-25 2026年3月期（最終年度）		新中期経営計画
		目標	実績	2031年3月期目標
業績目標	連結売上高	2,500億円	2,321億円	3,500億円
	連結経常利益	100億円	77億円	130億円
資本収益性	ROE	現状ROE水準の 維持・上昇	14.0%	現状ROE水準の 維持・上昇（継続）
資本構成	自己資本比率	40%台を目安	43.6%	40%台を目安（継続）
株主還元	配当性向	30.0%以上	64.2%	50%を目安
	1株当たり 配当金	累進配当 40円以上	70円	累進配当 70円以上
設備投資	期間合計	-	211億円 (5年間)	400億円 (5年間)

売上構成

- 業務スーパー事業を成長ドライバーとして、売上高・経常利益の目標K P Iを目指す。
- さらに、車関連事業・精肉事業を含めた3事業を主軸とし、将来の収益源となる新規事業開発も進めていく。



業務スーパー事業

方針

積極的な出店戦略を通じたさらなる成長加速

2031年3月期 業務スーパー事業 業績目標

成長戦略

■新規出店

積極的な出店戦略

✓ 中部地方を中心に年10店舗程度の新規出店を実施

出店領域の拡大に挑戦

✓ 市場環境や顧客ニーズの多様化に対応するため、
新業態での出店に取り組む

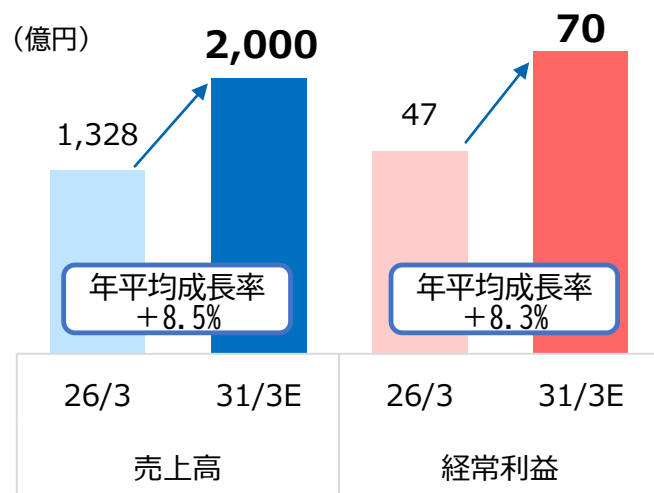
■既存店

既存店舗の競争力向上

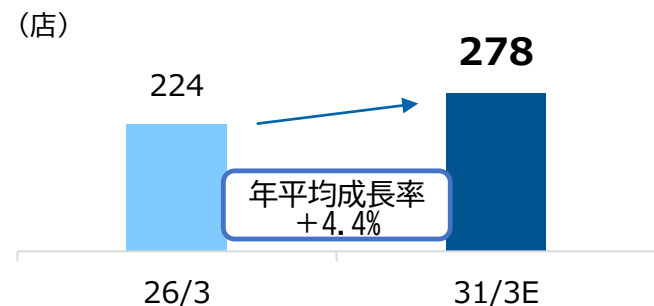
✓ 売上向上効果を踏まえ、既存店リニューアルを継続的に実施

✓ 食品カテゴリーの品揃えを充実し、来店動機を強化

店舗運営の効率化

✓ 自動発注システムを試験導入（現在3店舗）し、全
店展開を検討✓ デジタル活用による店舗オペレーションの標準化と
生産性向上を推進

店舗数（業務スーパー単体）



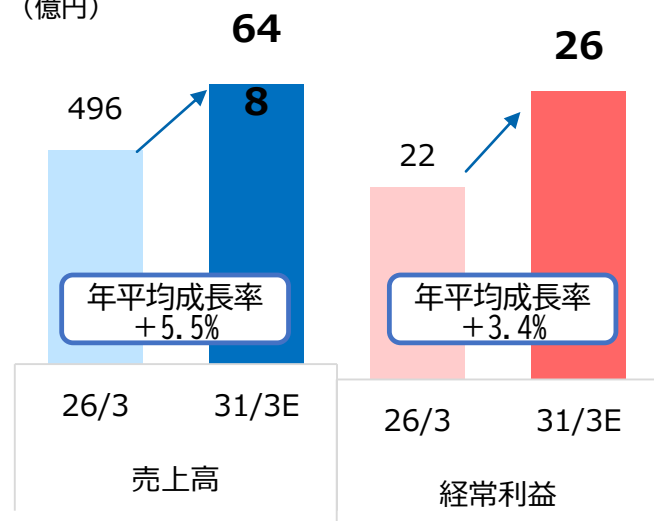
車関連事業

方針

既存店価値最大化と計画的な新規出店による安定成長

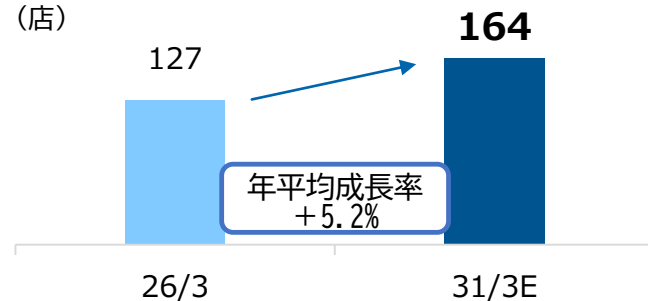
2031年3月期 車関連事業 業績目標

(億円)



店舗数（オートバックス以外含む）

(店)



成長戦略

■新規出店

計画的な新規出店の継続

- ✓ 安定的なペースで新規出店を継続し、商圈を着実に拡大
- 新業態出店による事業領域の拡張
- ✓ コーティング事業など、新業態の出店により、顧客接点の拡大と収益源の多様化を図る

■既存店

既存店への再投資

- ✓ リニューアル・スクラップ&ビルドを推進
- ✓ 店舗の魅力・快適性を高めて集客力を強化

サービス部門の強化

- ✓ サービス部門に注力することで、高収益性を維持
- 人材力の強化
- ✓ サービス品質の源泉である従業員の教育・育成支援を強化

■海外展開

海外輸出の拡大

- ✓ G-7.CrownTradingを中心に海外輸出を強化

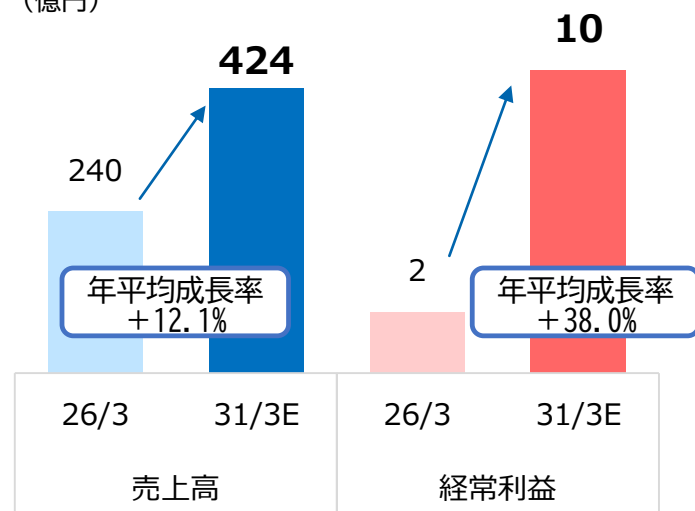
精肉事業

方針

グループ内外への多面的な出店展開により事業規模の拡大を推進

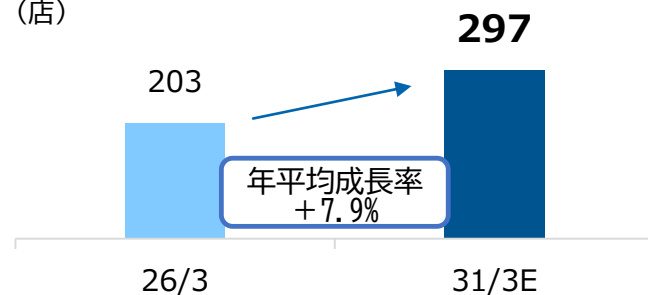
2031年3月期 精肉事業 業績目標

(億円)



店舗数（お肉のてらばやし単体）

(店)



成長戦略

■新規出店

業界No.1の出店力を維持

- ✓ 業務スーパーだけでなく、他スーパーへの出店も継続し、出店を加速

■既存店

オペレーションの効率化

- ✓ 店舗集中エリアに店舗内センター（加工・配送）を整備し、配送コストを削減
- ✓ 伝票のデジタル化や無人精算機の導入等、DXを推進

■その他

精肉事業カテゴリーの裾野拡大

- ✓ 2025年10月にミートプランニングを子会社化。
ミートプランニング独自の事業基盤を活かし、精肉事業全体の売上規模を拡大

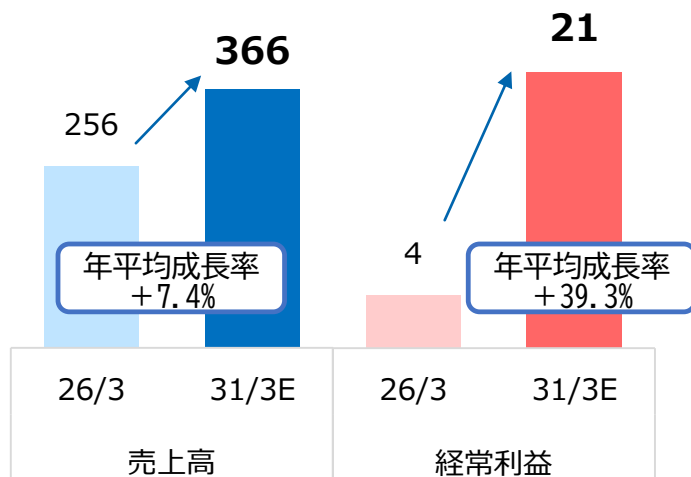
その他事業

方針

既存領域の拡大と新領域への挑戦

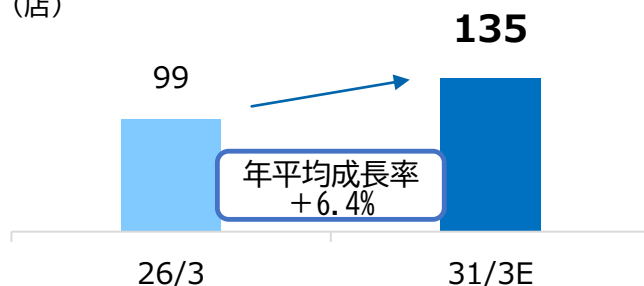
2031年3月期 その他事業 業績目標

(億円)



店舗数

(店)



成長戦略

■G7 リテールジャパン

ワークマンとの協働

- ✓ 株式会社ワークマンと法人FC契約を締結予定。
2026年9月には、Workman Colorsを2店舗展開予定等、アパレル小売業界への積極的な進出を企図

■G7 アグリジャパン

農作物の自社生産に挑戦

- ✓ 農作物の自社生産への挑戦とSNSを軸とした情報発信力の強化により、めぐみの郷の収益拡大に貢献

■G7 ジャパンフードサービス

食品卸業の規模発展

- ✓ 好調な「こだわり食品」ラインナップの見直し
- ✓ 不採算店舗の整理と新規出店

■G-7 新流

EC分野におけるシェア拡大の加速

- ✓ 2025年1月に子会社化
- ✓ メイン事業であるブランド腕時計販売やペットグッズ販売のシェアを拡大、新商品開発も積極的に挑戦

新中期経営経営計画では、3つの重要方針のもと、対象企業を選定し、積極的にM&Aを推進していく

- ①新時代(SDGs、ESG経営)に相応しい**新業種・業態の開発**を積極的に推進
- ②メガ・フランチャイジーとして培ってきた店舗運営および効率化ノウハウを展開しやすい「**小売業・サービス業**」を優先
- ③グループ各社の既存事業とのシナジー、当社の拠点との**シナジーが期待できる業種**を対象

新業種・新業態

- インバウンド関連
- 小売りEC
- リカーショップ
- 全酒類卸売業免許

シナジーが期待できる業種

- 食品スーパー
- 生鮮3品
- 食材配達・宅食
- こだわり食品
- カスタムカー
- アウトドア用品

■新規事業投資における施策

アパレル小売業界への本格進出

- ✓アパレル小売業界に強みを持つワークマンと協働し、本格的に店舗を展開していく

■AI・DXの取組み

全社的なAI活用・DXの推進

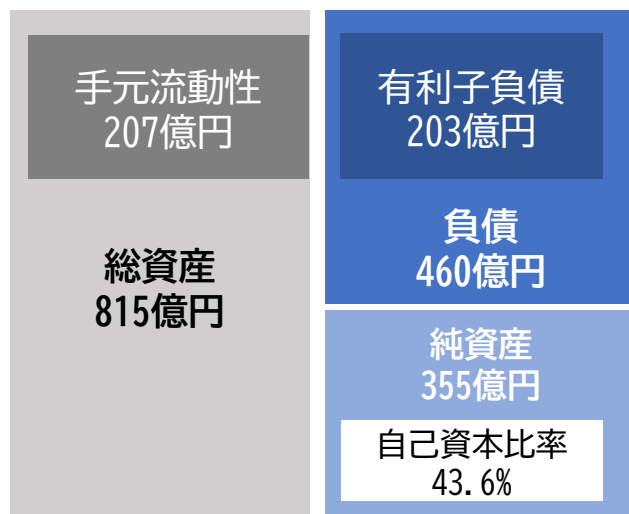
- ✓AI戦略室を新たに設置し、全社的にAI活用・DXの取組みを加速させる

B/Sコントロール

- 資本収益性と財務安全性の両面から、最適な資本構成を推進します。
- 成長分野への投資を推進するとともに、株主還元を活用した資本効率の適正化に取り組み、自己資本比率は40%台を目安にコントロールします。

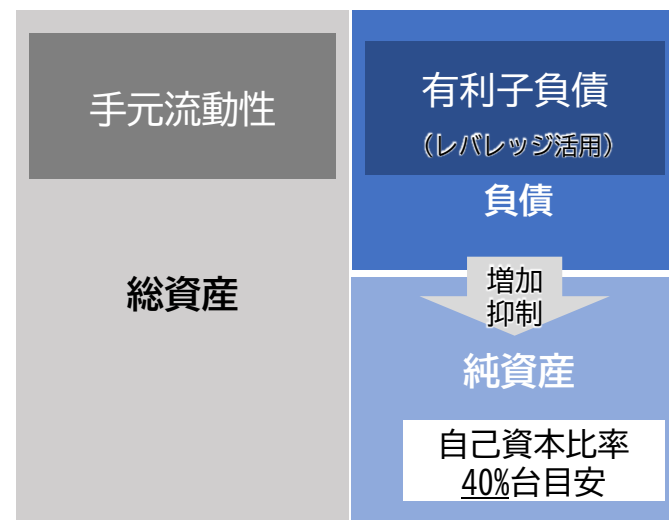
目指すバランスシートのイメージ

—— 直近期 ——
2026年3月期



—— 目指すB/S ——
のイメージ

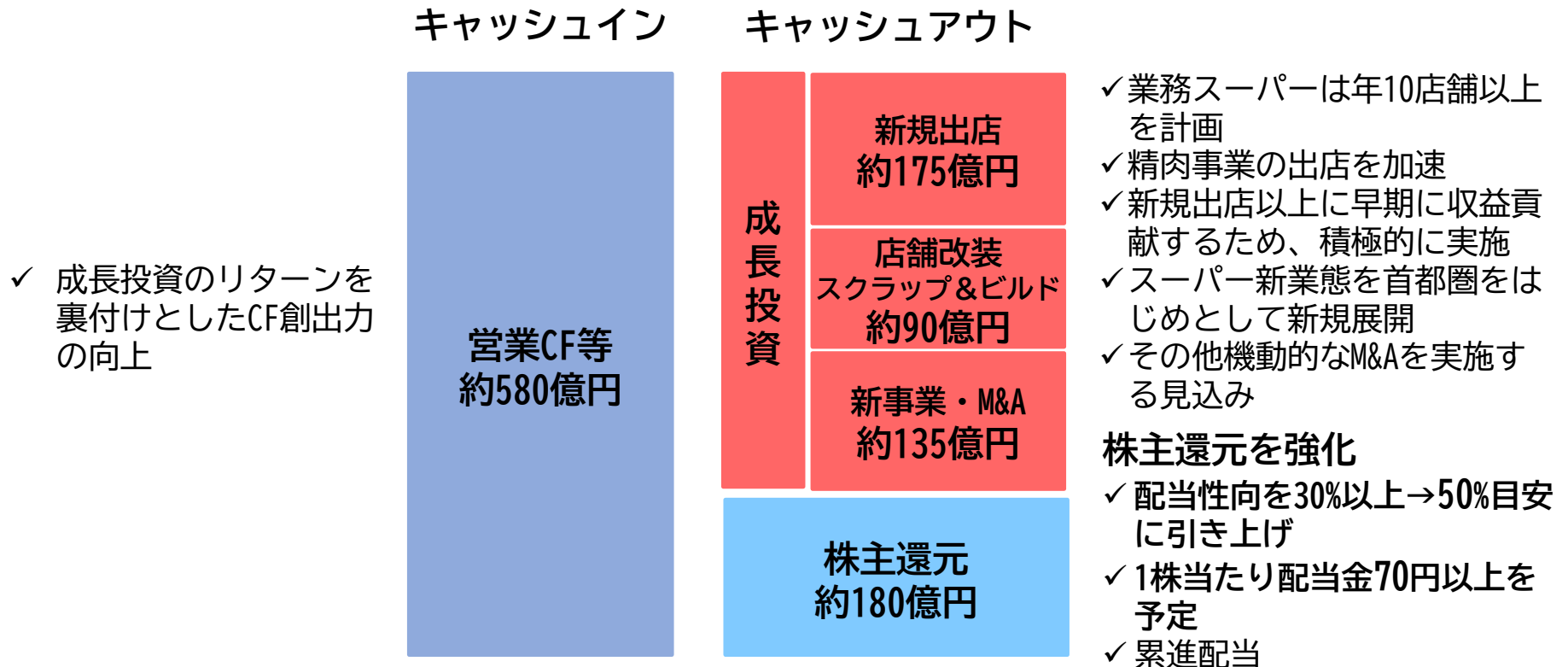
- ・ 大型のM&Aの際はレバレッジ活用を検討
- ・ 成長投資に力点を置きながらも、株主還元による自己資本の過度な蓄積抑制にも取り組む



キャピタル・アロケーション

- 新規出店やM&Aを中心とした成長投資を重点的に実行し、営業CFのさらなる創出につなげる。
- 目標配当性向を30%から50%目安へ引き上げることで、株主還元を強化し、資本効率の向上を図る。

キャピタル・アロケーション（2027年3月期～2031年3月期）

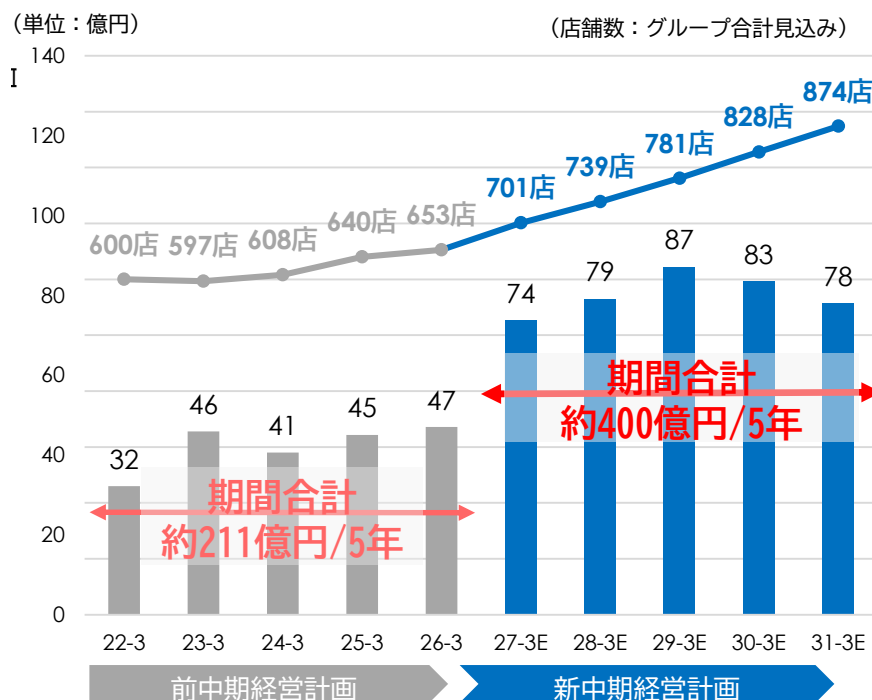


成長投資

- 各事業でのリニューアル・出店強化により成長を深耕しつつ、新事業開発およびM&Aを積極的に展開することで、事業規模の拡大と成長速度の加速を図る。

成長投資

投資金額と店舗数の推移イメージ



投資計画

業務スーパー事業

- ・ 中部エリアを中心に積極出店
- ・ 既存店リニューアル投資

車関連事業

- ・ 既存店リニューアル投資による店舗売上高増加および生産性向上
- ・ サービス売上の向上に寄与するような新業態の運営会社をM&A

精肉事業

- ・ 新規出店を加速
- ・ 既存店舗集中エリアに店舗内センターを整備し、低コスト化

その他事業

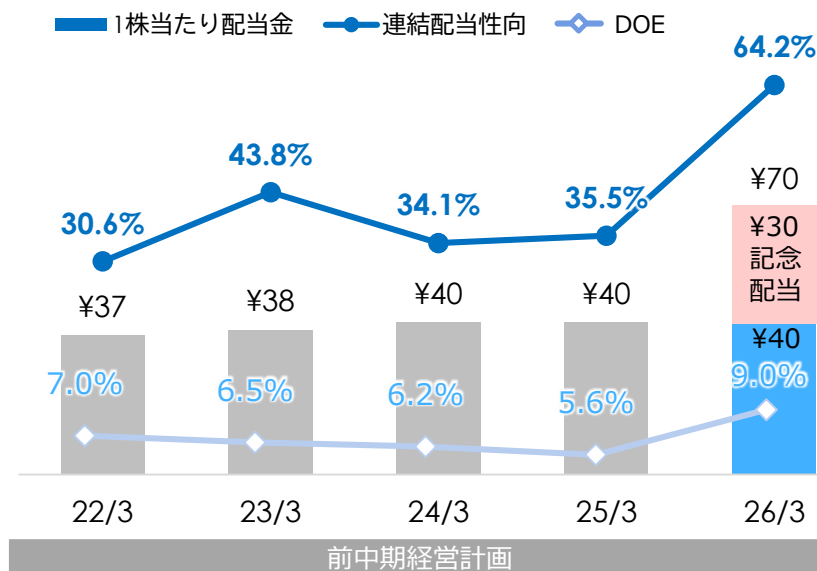
- ・ 採算性を考慮した出退店
- ・ 新領域への挑戦

株主還元

- 従来の配当性向30%以上かつ累進配当（1株当たり配当金40円以上）から、新配当方針として、配当性向50%を目安に目標水準を強化。
- 新中期経営計画では、普通配当として1株当たり配当金70円以上を維持し、累進配当を目指す。

従来の配当方針

- ・ 配当性向30%以上
- ・ 累進配当・1株当たり配当金40円以上

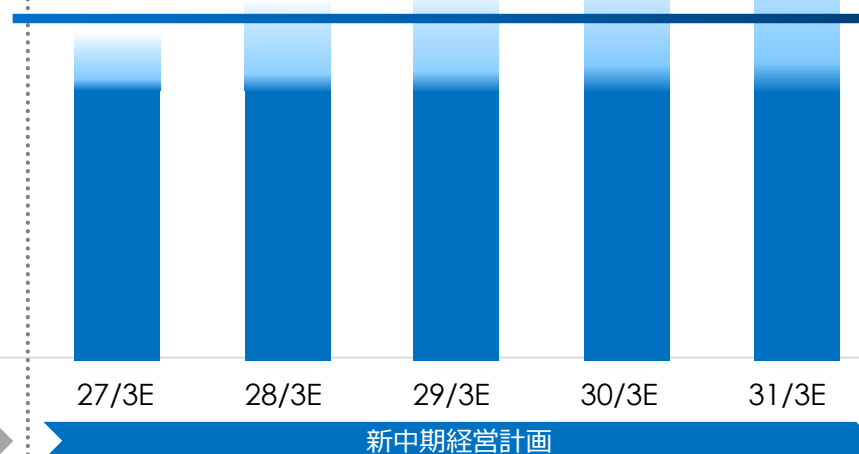


(※) 1株当たり配当金額はこれまでの株式分割を反映

新配当方針

- ・ 配当性向**50%を目安**
- ・ 累進配当・1株当たり配当金**70円以上を継続**

配当性向**50%を目安**



ご清聴ありがとうございました



◆参考資料

- ◆ グループ会社一覧
- ◆ 業界でのポジション～日経MJ小売業ランキング
- ◆ フランチャイズ(FC)ビジネスとは？
- ◆ 当社IRサイトのご紹介

株式会社G-7ホールディングス
純粋持株会社

株式会社G-7・オート・サービス オートボックス事業

株式会社G-7スーパーマート 業務スーパー事業

株式会社G-7ミートテラバヤシ お肉のてらばやし(精肉)事業

株式会社G-7バイクワールド バイクワールド(バイク用品)事業

株式会社G-7リコス・ストアズ リコス(ミニスーパー)事業

株式会社G7ジャパンフードサービス 食品卸・加工販売事業

株式会社G7アグリジャパン めぐみの郷(農産物直売所)事業

株式会社G7リテールジャパン カーブス事業

株式会社G7ストアイノベーションズ 店舗内装・設備工事業

株式会社G-7・シンワ・モビリティサービス 車検・整備 事業

株式会社G-7新流 時計・ペット用品通販事業

株式会社G-7ミートプランニング 食肉加工卸業

G7 RETAIL MALAYSIA SDN. BHD. 車関連・バイクワールド事業

G-7 CROWN TRADING CO., LTD. 新車・中古車輸出事業

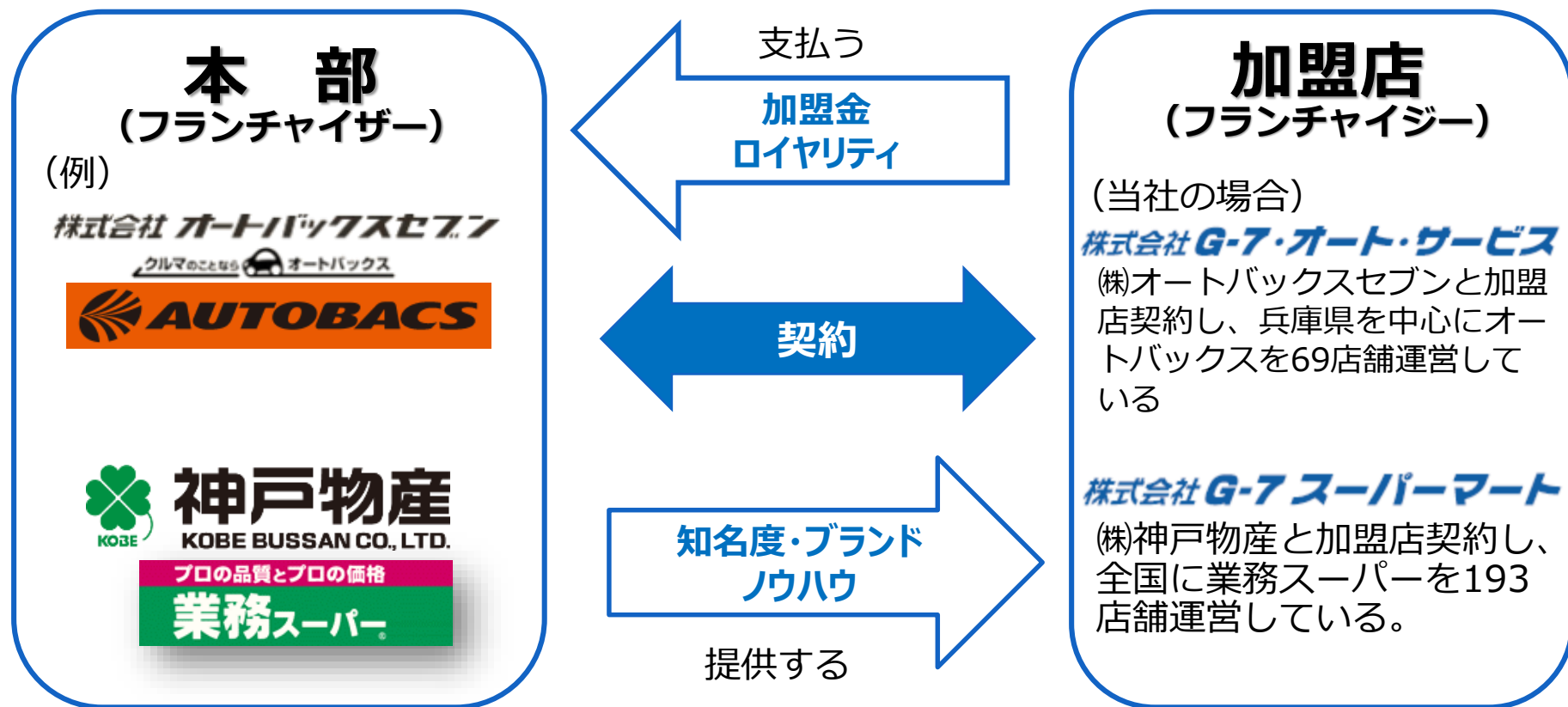
2024年度小売業売上高ランキング

小売全体の 順位（前年）	社 名	売上高 （百万円）	経常利益 （百万円）
1位	(1) セブン&アイ・ホールディングス	11,972,762	374,586
2位	(2) イオン	10,134,877	224,223
3位	(3) アマゾンジャパン	4,150,703	-
35位	(36) 神戸物産	507,883	31,576
68位	(67) オートバックスセブン	249,525	12,516
74位	(74) G-7ホールディングス	214,129	7,466
91位	(88) イエローハット	154,066	16,838
109位	(110) G-7スーパーマート	115,168	4,784
132位	(138) オーシャンシステム	91,061	1,847
216位	(231) アイエーグループ	37,289	1,895
234位	(244) G-7・オート・サービス	33,826	1,832
302位	(312) G-7ミートテラバヤシ	21,104	267
367位	(396) バッファロー	12,185	544

調査方法：総売上高が上位500位以内の企業をランキング。

《24年度の小売業調査第58回 日経MJ 2025.7.16紙面より》

フランチャイズ（F C）・ビジネスとは？



特定の経営ノウハウをもつ本部が加盟店に対し、商品やサービス、店舗設計など経営全般のノウハウを含めた販売権を提供し、加盟店は定められた手数料を支払うというフランチャイズ・システムに従った小売形態をいう。フランチャイズ・チェーンの本部をフランチャイザー、加盟店をフランチャイジーという。

(新語時事用語辞典)

MEMO

MEMO

<お問い合わせ>



株式会社G-7ホールディングス IR担当:井手 かおる

兵庫県神戸市須磨区弥栄台2-1-3 TEL:078-797-7777

Email : kaoru.ide@g-7holdings.co.jp

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。